

意見発表

奥野正孝

三重県地域医療研修センター長



めんの糧になるだろうというのを信念に持って、若い人たちと一緒に研修をするという仕事を、今お話しにしました。日本「の手ペット」の紀南でさせていただきます。

三重県地域医療研修センター長の奥野と申します。私は、そのセンターへ来て4年になります。以前は通算17年間、三重県にアンケータをしまして、

次期大会招請発言

古川公毅

(社)首都道路協議会 副会長



10月10日開催の方向で、今、日程調整をしております。皆さまの参加を心から歓迎したいと思っております。

私は、当全国道路利用者の会議の東京都支部の首都道路協議会の副会長の古川と申します。どうぞよろしくお願い致します。

議長

(社)愛知県トラック協会相談役



川島 誠

中部地区道路利用者会議会長

でございますが、こういう皆さまの熱意と、それから温かいおもてなしの心のパトナタッチを受け継ぎまして、そして、東京にお越し

が、この前のような台風が、日本全国の僻地というところに行っております。

三重県の南の紀南という地域は、熊野市・紀宝町・御浜町という3つの市町がありますが、人口が約5万人。そこにある唯一の病院が紀南病院といまして、

でございます。平成24年11月15日、平成25年度道路関係予算概算要求額は全額を確保すること。

要望書朗読

末松則子

三重県鈴鹿市長



でございます。今日は、全国道路利用者会議 第62回の全国大会であると考えております。

要望書

- 一、高速道路から生活道路まで、地域が真に必要なとする道路整備を計画的かつ着実に進めること。
一、安全で安心できる国土づくりのため、高速道路等のミッシングリンクの解消など、防災・減災に資する道路整備を全国的に推進すること。
一、東日本大震災等の教訓を踏まえ、災害に強い道路ネットワークの整備や広域的かつ機動的な危機管理体制の確保を、国の責任において図ること。
一、道路整備をはじめとする地方における社会資本整備に対する支援の地域自主戦略交付金化については、市町村との協議が整わない場合には導入しないこと。
一、社会資本整備総合交付金については、これ以上総額を減らさないこと。また、重要政策に対する社会資本整備交付金の重点配分方針について市町村にも速やかに情報提供すること。
一、前項の目的を速やかに達成するため、平成二十五年度道路関係予算概算要求額は全額を確保すること。
一、道路利用者の意見を十分反映した道路整備が実施されるとともに、必要な財源の確保を図ること。

平成二十四年十月十八日

全国道路利用者会議 第六十二回全国大会

